

メガネに関するお問合せなどは  
「ご購入店」または  
「ご購入製品メーカー」まで  
お気軽にご相談ください

メガネのことなら当店まで



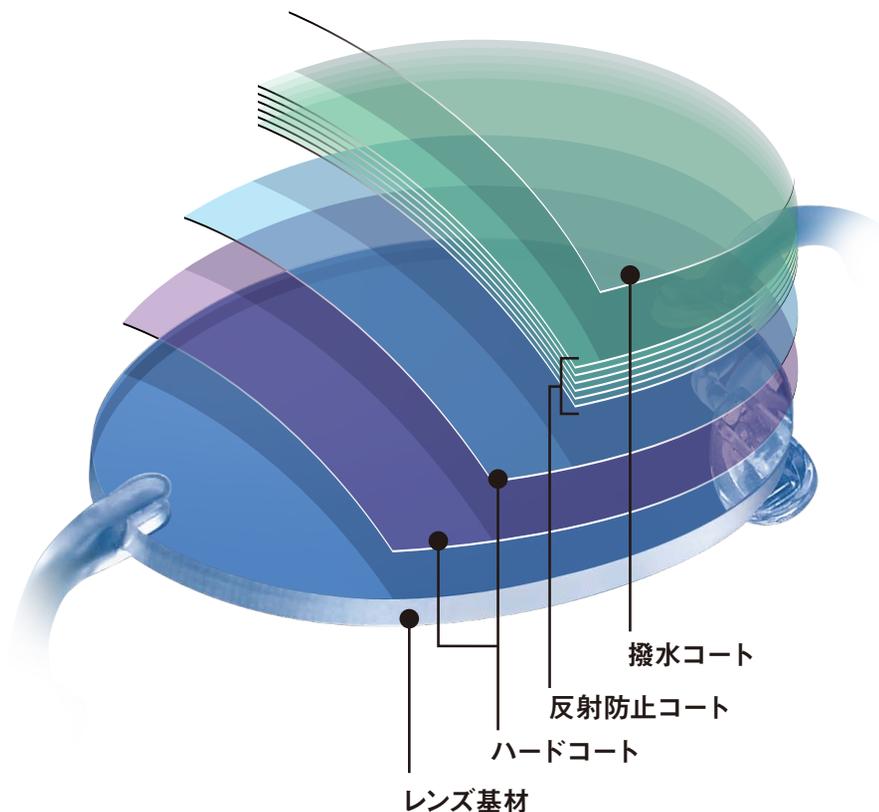
メガネと快適に  
おつきあい  
いただくために。

レンズはあなたの目のよきパートナーです。

## 無防備なプラスチックレンズを「コート膜」で守っています。

プラスチックレンズは、  
基材の上に何層ものコート膜がほどこされています。  
それぞれが極めて薄い膜ですので、使用条件によっては、  
キズが付いたり、コート膜がはがれたりします。  
メガネと長く快適におつきあいいただくために、  
ぜひプラスチックレンズの性質をよくご理解いただき、  
正しい取り扱いを心がけてください。

レンズの性質をよくご理解いただき、快適にお使いください。



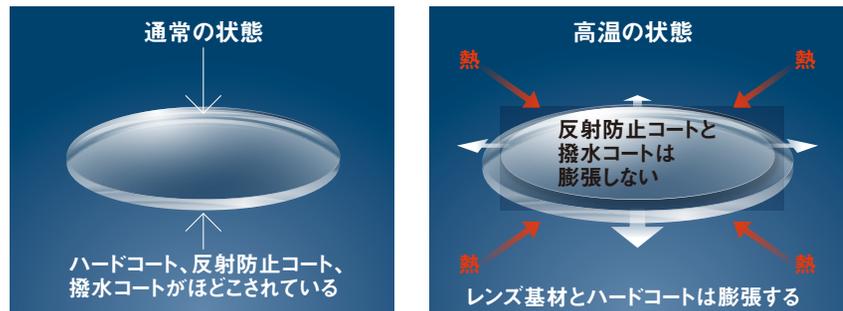
## ご購入直後でも、 コート膜にヒビ割れを 生じる場合があります。

たとえご購入直後であっても、  
プラスチックレンズは60℃以上の高温になると急に膨張する性質があり、  
コート膜にヒビ割れを生じる場合があります。

炎天下の車中や、サウナ、ドライヤーはもちろん、  
炭火焼肉やバーベキューなど、  
焼きながら食べる時にもご注意ください。  
顔が少しほてる頃には、レンズは高温になっています。

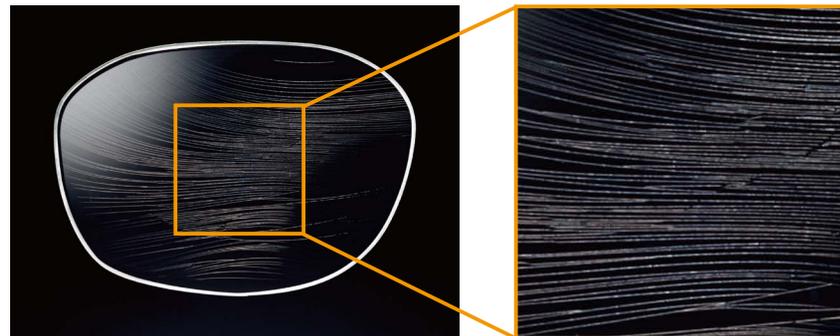


### □ヒビ割れの仕組み



レンズに熱が加わるとレンズ基材とハードコートは膨張しますが、反射防止コートと撥水コートは膨張しません。このためレンズ基材とハードコートに引っ張られて、ヒビ割れの原因となります。

### □ヒビ割れ

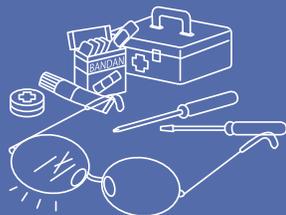


※掲載写真はレンズの状態をご理解いただくための一例です。

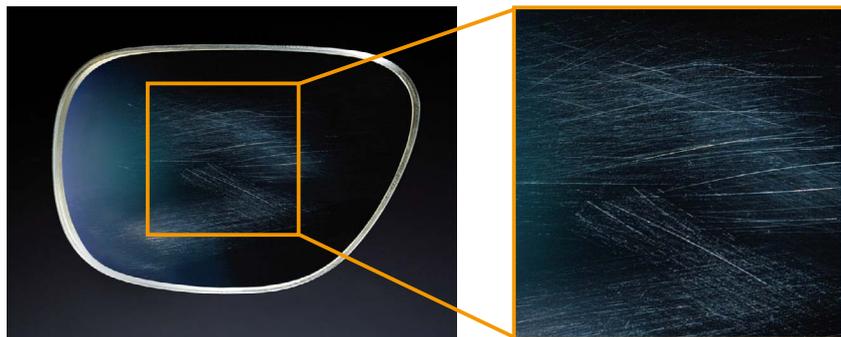
# プラスチックレンズの 修理はできません。

キズが付いたり、コート膜がはがれたレンズ表面は、  
見た目以上にダメージを受けていると思われます。  
修理しようとして、あえて強い薬品でコート膜をはがしたり、  
高精度な研磨加工をほどこしても、  
レンズ表面が荒れてしまい再生させることはできません。

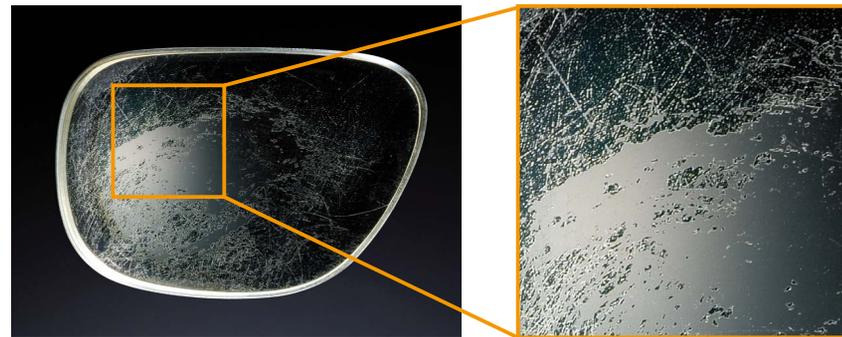
プラスチックレンズは、  
残念ながら修理再生することが  
できない製品であることをご理解いただき、  
やさしいお取り扱いをお願いいたします。



□キズ



□コートのはがれ



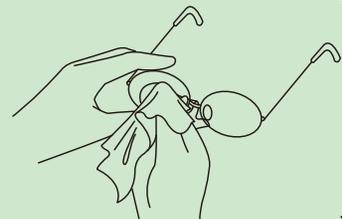
※掲載写真はレンズの状態をご理解いただくための一例です。

# プラスチックレンズは 繊細な光学製品です。

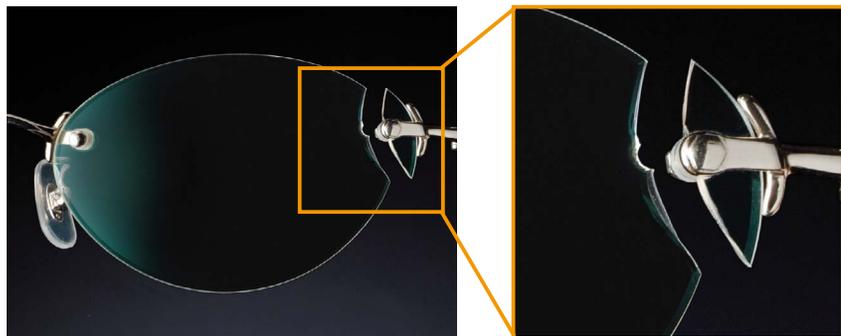
プラスチックレンズは素材が柔らかいため、強引にメガネをはずしたり、取り扱ったりすると破損する場合があります。

またキズに強いコート膜をほどこしても過信は禁物です。レンズ面を下にして机の上に置いたり、むき出しで鞆やポケットから出し入れするのはキズのもとです。

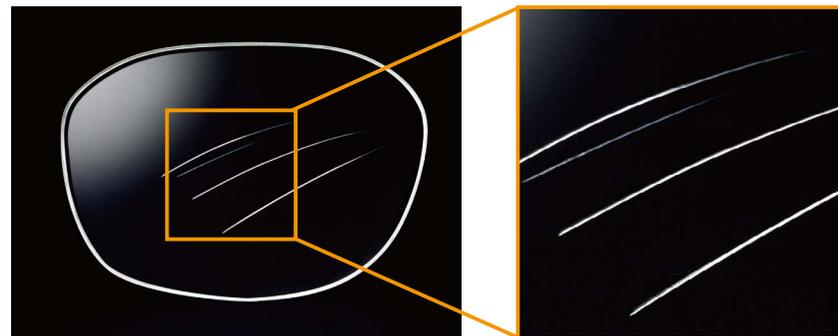
レンズの拭き方のコツは、  
から拭きを避けること。  
クリーナーなどで軽く湿らせた専用の  
レンズ拭きで、サンドイッチをつまむ  
程度の軽い力で拭いてください。



## □破損



## □キズ



※掲載写真はレンズの状態をご理解いただくための一例です。

## 超撥水コートでも 水ヤケを生じる場合があります。

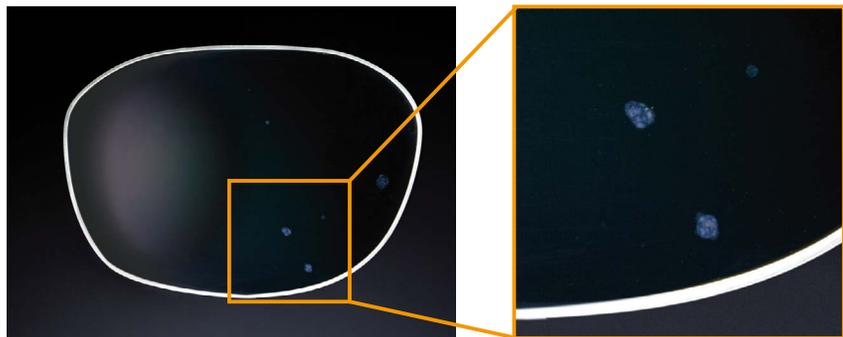
超撥水コートは水や油を弾いて水滴にしますが、  
水滴に含まれる汚れの成分は、  
そのまま乾燥すると水ヤケとなって固着する場合があります。  
大切なのは、水分が乾かないうちに拭き取ることです。



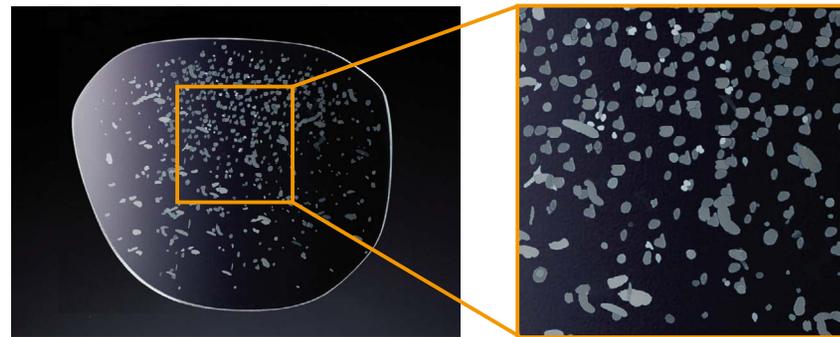
購入したばかりの新しいレンズの表面は、  
滑らかで撥水効果が高いため、水分が微細な水玉となって  
付着します。このため光が乱反射して曇りと感ずますが、  
軽くレンズを拭きながらご使用いただければ、  
曇りやすさは徐々に落ち着いてきます。



### □水ヤケ



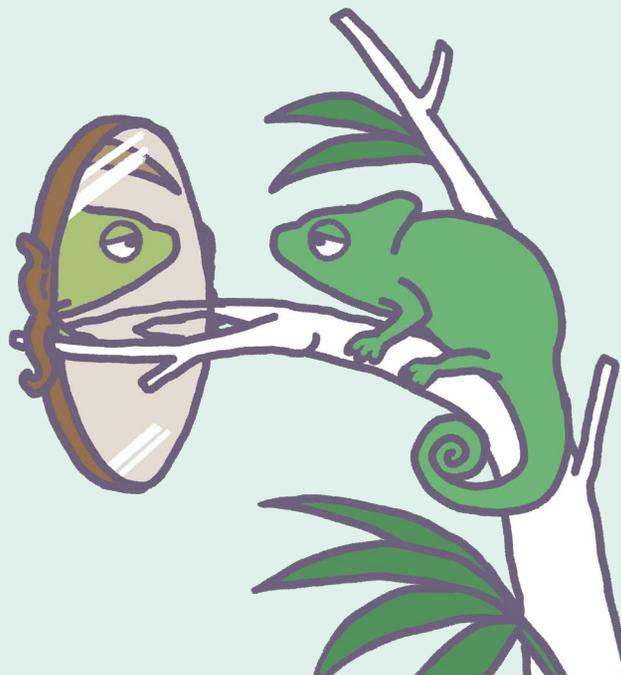
### □化学製品・薬品付着によるシミ状のはがれ



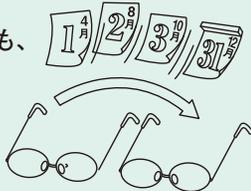
※掲載写真はレンズの状態をご理解いただくための一例です。

## プラスチックレンズは 経年変化します。

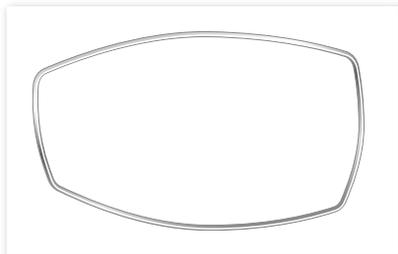
プラスチックレンズは、紫外線や熱、水分などの吸収によって、  
素材の色が徐々に変化（経年変化）します。  
無色レンズは、素材の色調が徐々に黄色味を帯びてきますが、  
カラーレンズは黄色味に加えて、染料の色調も徐々に変色・退色します。



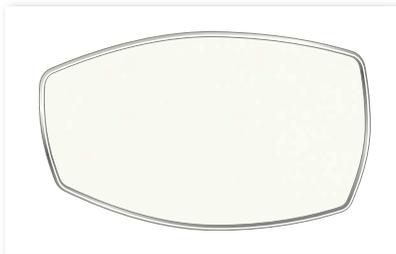
プラスチックレンズは、大事に保管しておいても、  
徐々に劣化（経年変化）していきます。  
1年ごとを目安に購入店で点検を受け、  
劣化があれば早めの交換をおすすめします。



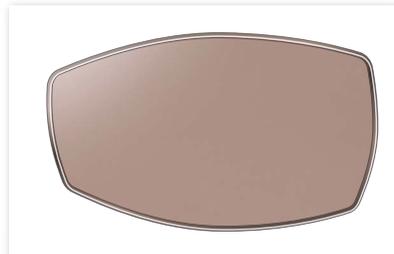
□新品の無色レンズ



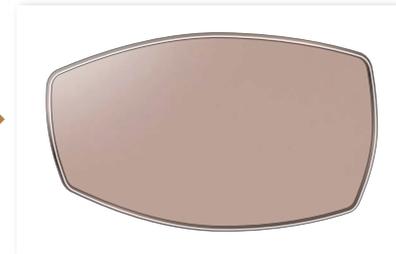
□5年使用した無色レンズ



□新品のカラーレンズ



□3年使用したカラーレンズ



メガネをご使用中に片方だけ新しいレンズに交換すると、左右の色調が合わなくなってしまうので、レンズを交換する際には左右同時にすることをおすすめします。

※掲載写真はレンズの状態をご理解いただくための一例です。

# メガネの正しい取り扱い方

## 掛けるとき

テンプル（つる）をきちんと開いて、両手で顔に添わせながら正面より、ゆっくり掛けてください。この時、テンプルの先で目や顔を突かないよう、ご注意ください。



## はずすとき

両手でテンプル（つる）を持って、顔に添わせながら、正面よりゆっくりはずしてください。片方のみを持って無理にはずすと、破損、変形、ゆるみなどの原因となります。

## 置くとき

レンズの凸面を上向きにして、置いてください。下向きにして置くと、レンズにキズが入ります。



## 拭くとき

拭く方のレンズの外側を持って、クリーナーなどで軽く湿らせた「レンズ専用メガネ拭き」で、そっと拭いてください。拭く方の反対側を保持したり、力を入れすぎたりすると、フレームやレンズが破損することがあります。

拭く方のレンズ外側を持つ



レンズにキズやヒビ割れが入ると、コートがはがれやすくなります。誤った取り扱いをすると、いろいろな不具合がおきますので、ご注意ください。

## レンズに異物やホコリなどが付着しているとき

キズに強いコート加工のレンズでも、まず水洗いしてください。ティッシュペーパーで水気をとり、きれいな「レンズ専用メガネ拭き」で軽く拭いてください。から拭きするとキズが入ります。



## 汚れがひどいとき

中性洗剤を薄めた液で洗ってください。そのあと水洗いをして前記と同様に拭いてください。石鹸、ハンドソープなどのアルカリ性や酸性の洗剤、シンナーなどの溶剤は、使用しないでください。コートがはがれる原因となります。

## メガネが濡れたとき

すぐにメガネ拭きで拭いてください。そのまま放置すると、レンズに付いた水跡がシミのようになって取れなくなります。また、フレームの場合は金属部のサビや、樹脂の変質、変色の原因となります。

## 持ち運びするとき 使用しないとき 保管するとき

持ち運びする際や使用しない場合は、お手入れをしたうえで、図のようにレンズ部をメガネ拭きでくるんでから、メガネケースに入れてください。また、保管の際は、防虫剤、洗剤、化粧品、整髪料、薬品などの入った場所に保管しないでください。レンズ、フレームの変質、変色、劣化の原因となります。

